

# 第41回 北海道特別支援教育研究協議会道北地区研究大会 兼 北海道小平高等養護学校公開研修会

## 〈第二次案内〉

向暑の候、皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より、本会の活動に特段の御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは一人一人の子どもたちの可能性を最大限のばし、自立し社会参加するための基盤となる生きる力を培うため、それぞれの教育的ニーズに応える特別支援教育の推進に努めてまいりました。

今大会では、「主体的・対話的で深い学びに向けた学習指導の実践～効果的な授業改善を充実させるための取組～」のテーマをもとに協議し、ともに研さんを積み、今後のより豊かな実践につなげてまいりたいと思います。

つきましては、全道における特別支援教育の推進・充実のため、多くの皆様に御参加いただきたく御案内申し上げます。

令和元年6月

第41回北海道特別支援教育研究協議会道北地区研究大会実行委員長 田近和憲  
(北海道小平高等養護学校長)

### 主 催

全日本特別支援教育研究連盟  
北海道特別支援教育研究協議会

### 後 援

北海道教育委員会 小平町教育委員会  
北海道特別支援学校長会 北海道特別支援学級設置学校長協会  
北海道特別支援学級教育研究連盟 北海道情緒障害教育研究会  
北海道自閉症協会 北海道特別支援学校知的障害教育校PTA連合会  
一般社団法人北海道手をつなぐ育成会 公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部

# 大会開催要項

## 1 大会主題

「主体的・対話的で深い学びに向けた学習指導の実践～効果的な授業改善を充実させるための取組～」

### 趣 旨

平成 29 年 4 月に「特別支援学校幼稚部教育要領、特別支援学校小学部・中学部学習指導要領」が告示され、さらに平成 31 年 2 月には「特別支援学校高等部学習指導要領」が告示されました。また今回の改訂は、平成 28 年 12 月の中央教育審議会による答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」等に基づくものであり、「社会に開かれた教育課程」「育成を目指す資質・能力」「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」などがキーワードとなっています。

我が国のこれまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善の活性化により、知識理解の向上を図り、これからの時代に求められる資質・能力を育てていくため、これまでの教育実践の蓄積をしっかりと引き継ぎつつ、授業を工夫・改善することが求められています。また前出の答申においても、主体的・対話的で深い学びの実現とは、特定の指導方法でもないこと、学校教育における教師の主体性を否定するものでもないことを前提にした上で、人間の生涯にわたって続く「学び」という営みの本質を捉えながら、教師が教えることにしっかりと関わり、児童生徒等に求められる資質・能力を育てるために必要な指導の在り方を絶え間なく考え、授業の工夫・改善を重ねていくことであることが示されています。

このような動向を踏まえ私たちは、「主体的・対話的で深い学びに向けた学習指導の実践～効果的な授業改善を充実させるための取組～」を研究主題とし、各学校の特別支援教育の充実、発展に寄与していきます。

## 2 大会期日

令和元年 7 月 31 日（水）（受付 9：00～）

## 3 会 場

北海道小平高等養護学校

〒078-3442 留萌郡小平町字鬼鹿田代

Tel：0164-57-1203

## 4 大会日程

9:00 9:30 9:45 10:20 12:00 13:15 14:45 14:55 15:15 16:00

受付	開会式	移動準備	部会協議 (提言・協議・助言)	昼食 (学校紹介 ポスター発表) (12:30~13:10)	【全体講演会】 「どん底からの金メダル ～つらい時こそ笑顔で～」 阿部雅司氏 (名寄市特別参与 スポーツ振興アドバイザー)	休憩準備	閉会式	総会
----	-----	------	--------------------	---	--	------	-----	----

※開会式後に、各部会の提言者、助言者、運営者との打ち合わせを行います。

※総会は、北特研会員のみの参加となります。

5 部会協議

部会名	テーマ、提言者及び助言者
<p>【第1部会】 教科指導部会</p>	<p>【北海道旭川高等支援学校】 提言者：教諭 佐野大輔氏 「生徒の自立や社会参加に向けた教育内容の充実 ～各教科の単元や題材の学ぶ意義を明らかにした学習計画の作成をとおして～」</p>
	<p>【北海道雨竜高等養護学校】 提言者：教諭 森田恵美氏 「日常的な授業改善の取り組み～主体的・対話的で深い学びを促す工夫～」</p>
	<p>助言者：北海道稚内養護学校 教頭 橋本伸明氏</p>
<p>【第2部会】 生活単元部会</p>	<p>【北海道鷹栖養護学校】 提言者：教諭 後藤武典氏 「中学部の生活単元学習の実践と今後の課題」</p>
	<p>【北海道東川養護学校】 提言者：教諭 本母世跳氏 「児童が自分の学習目標を知り、成果と課題を振り返る授業を目指して」</p>
	<p>助言者：北海道立特別支援教育センター発達障がい教育室 主任研究員 岡森博宣氏</p>
<p>【第3部会】 作業学習部会</p>	<p>【北海道美深高等養護学校】 提言者：教諭 山本伸哉氏 「作業学習からみる教科横断的な指導」</p>
	<p>【北海道美深高等養護学校あいべつ校】 提言者：教諭 富士原裕三氏 「あいべつ校デュアルシステムから考察する社会人への般化」</p>
	<p>助言者：北海道雨竜高等養護学校 教頭 濱裕晃氏</p>
<p>【第4部会】 日常生活の指導部会</p>	<p>【北海道稚内養護学校 提言者：教諭 小建佑佳氏 「生きる力を育むための指導・支援について ～小学部段階における児童の主体性を引き出すための支援・指導とは～」</p>
	<p>【北海道美唄養護学校 提言者：寄宿舎指導員 道川裕也氏 渡部満里氏】 「一人一人の生きる力につながる支援を目指して ～将来を見据え、より豊に生活し、たくましく生きる力を育む～」</p>
	<p>助言者：北海道美深高等養護学校 教頭 業天誉久氏</p>

※運営（司会・記録）は、北海道小平高等養護学校職員が担当します。

## 【講師略歴】

阿部雅司氏（名寄市特別参与 スポーツ振興アドバイザー）

北海道留萌郡小平町出身

当時マイナースポーツだったノルディック複合競技で1980年代後半から日本代表として活躍し、1988年のカルガリーオリンピックに初出場した。

そして1991年の世界選手権で複合団体初の銅メダルを獲得し、日本チーム躍進のきっかけとなった。翌年の1992年アルベールビルオリンピックでは団体の金メダルチームのメンバーから外れたが、1993年スウェーデンでの世界選手権では、再び代表になり金メダルを獲得した。その後はリレハメルオリンピック、サンダーベイ世界選手権で金メダルを獲得し、1995年札幌でのワールドカップ最終戦で現役を引退したが、長年にわたり複合チームの精神的柱として活躍してきた。

引退後は全日本チームのコーチとして若手育成に励み、ロシアで行われたソチオリンピックでは渡部暁斗選手がオリンピックでは20年ぶりのメダルを獲得した。

そしてソチオリンピック後に19年間続けて来た全日本チームのコーチを辞してからは、ノルディック複合の国際委員として海外での会議に出席したり、ワールドカップ大会の競技運営役員などを行い、2016年4月より名寄市でジュニア育成やスポーツの振興の為にスポーツ振興アドバイザーとして活躍している。



### 6 参加者

- (1) 北海道特別支援教育研究協議会会員および教育関係者
- (2) 福祉施設職員、特別支援教育に関心のある方

### 7 参加費

- (1) 北特研会員・準会員は、無料です。
- (2) 北特研非会員の参加費は、一人1,000円です。また、研究紀要を希望される方は、一冊2,000円です。

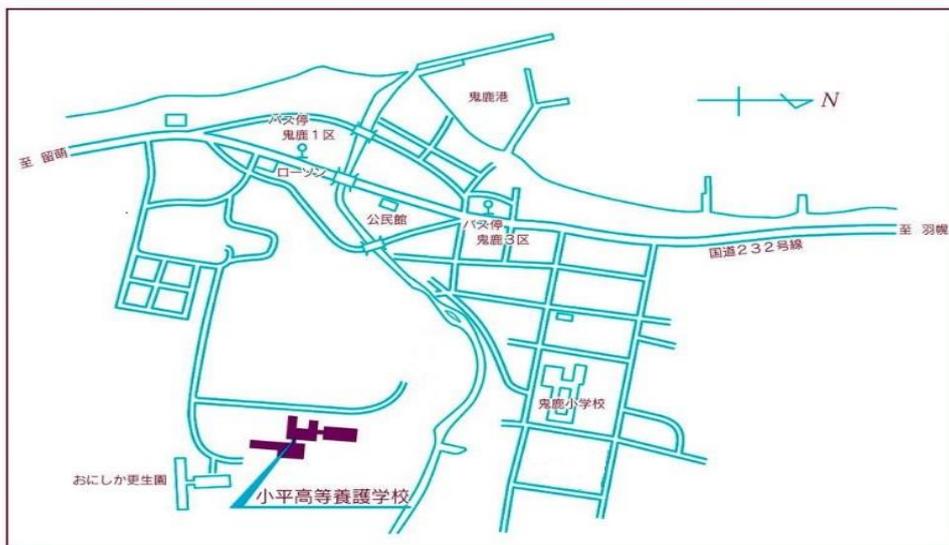
### 8 参加申込方法

別紙参加申込書に必要事項を御記入の上、7月12日（金）までに、FAXまたはメールで送信してください。

### 9 その他

- (1) お弁当を650円（お茶付）で斡旋しますので、ご希望の方は参加申込書にご記入ください。代金は当日受付にてお支払いください。
- (2) クールビズを励行しています。御来校の際は、軽装での参加をお願いします。
- (3) 上履き、ネームホルダーを各自でご持参くださいますよう御協力をお願いします。
- (4) 自家用車で来校される場合は、できるだけ乗り合わせをお願いします。

## 1.1 会場案内図及び交通機関の御案内



最寄りのバス停は「[沿岸バス](#)」の「鬼鹿1区」および「鬼鹿3区」となります。

留萌駅前バス停→鬼鹿1区および3区（約40分）

羽幌ターミナル→鬼鹿1区および3区（約30分）

※鬼鹿1区バス停より徒歩で15分ほどとなります。上り坂が続きますので御注意ください。

自家用車での近隣都市からの、おおまかな所要時間（高速道路使用時）

深川市（JR 深川駅） → 小平高等養護学校（約1時間30分）

旭川市（JR 旭川駅） → 小平高等養護学校（約2時間20分）

留萌市（JR 留萌駅） → 小平高等養護学校（約40分）

羽幌町（羽幌町役場） → 小平高等養護学校（約35分）

### 大会事務局

〒078-3442 留萌郡小平町字鬼鹿田代 北海道小平高等養護学校内

実行委員長 北海道小平高等養護学校長 田近 和憲

事務局長 教頭 清弘 直行

事務局次長 教諭 蓑口 真理

地区理事 教諭 東山 崇麿

Tel : 0164-57-1203 Fax : 0164-57-1204

E.mail: [onne@hokkaido-c.ed.jp](mailto:onne@hokkaido-c.ed.jp)

天売島、焼尻島が一望できる温寧の丘からの景色や獲れたて新鮮な海の幸、山の幸、そして地域の  
方の温かさを是非、一度味わってみませんか。皆様の参加を心よりお待ちしております。